

8月26日に川島大橋の歩行者用仮橋の開通式が行われました。被災によりスクールバスで通学している小中学生47名が2学期から通学路利用でできることとなりました。今回の歩行者用仮橋は400m級の一級河川に掛かる橋としては、国の権限代行が決まった昨年9月より、一年足らずの驚くべき速さで開通しました。そこには国土交通省が全国で積み上げて来た叡智の結晶とも言える工法に秘訣があります。国交省は全国の災害対策の為に、「応急組立橋」というものを保有しています。近畿・三重・長野・岐阜国道事務所から応急組立橋を合計4つ川島に取り寄せ、さらにそれを組み合わせて、兩岸より工事を行うことで今回の早期完成に至りました。全国的にも前例の無い規模・スピードで歩行者用仮橋が開通したのはこうした理由があります。木曾川の様は大規模一級河川は、通常で言えば夏期の出水期(6月~9月)は台風や雨で増水シーズンとなり、原則として工事が出来ません。大きな橋の設置に時間が掛かるのは、作業の安全確保上自然を相手にしている難しさがあります。川島大橋の本復旧も中々進まないと感じられるかと思いますが、橋の撤去を含めて工事の方が、一年中少しでも早く復旧出来る様に作業しています。橋の撤去も半分撤去されて以降、あまり進んでいない様に見えますが、よく見ると残った橋の「歩道」部分はお盆前に撤去が完了しています。これから水が少なくなっていく冬に向けて撤去が進んでいく予定です。川島大橋の本復旧も工法が決まり、撤去が終わるといよいよ本復旧に向かいます。皆さまにはご迷惑をお掛けしておりますが、何より地元の方々に理解とご協力を頂きながら、国・県・市の総力を挙げて早期復旧に取り組んでいるというのを知って頂きたいと思えます。引き続き全力でフォローして参ります。



菊地川島PTA会長の力作模型と一緒に歩行者用仮橋にて

ウクライナ侵攻を受けて日本の安全保障について関心が高まっている中、岐阜県内で地下避難施設が県内で「10施設」しか指定されていない課題について質問しました。8月に県有施設について見直し、新たに地下道を含む「140施設」が指定されました。更に市町村向けに8月に国から消防庁から講師を招いて、「弾道ミサイルを想定した初動対応マニュアル研修会」が開催されました。引き続き、「国民保護」について実効的な対応となるよう進めていきます。



地下施設と訓練について質問する平野祐也

平野祐也の一般質問  
その質問、その後どうなった?  
2022年6月の一般質問とその後  
緊急一時避難施設の地下施設増設と想定訓練の実施について

## 平野祐也の基本政策

その1  
産業

美濃を制すものは天下を制す!

“ど真ん中”岐阜を産業拠点に

その2  
教育

教育は場所を選ばない!

世界に誇る教育環境を岐阜に

その3  
創造

規制だらけの現代こそ、織田信長の発想で!

現代版楽市楽座で地域を再活性化

平野祐也  
ひらのの ゆうや

各務原から  
創ろう。  
岐阜の  
未来を。



LINE公式アカウント

最近の活動は

平野祐也 で検索!

発行日  
2022年 秋晴号

# 平野祐也



に寄せられる  
よくある質問に答えます!

Q&A

2分  
ください  
平野祐也のことをもっと知ってほしい!  
自己紹介アニメもご覧ください。



## Q 県議会議員の仕事のこと 県議会議員ってどんな仕事をしているんですか?

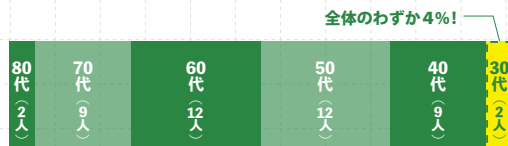
「法治国家」である日本では、身の回りの生活のほとんどが法律や条例のもと、ルールが決まっています。そうした中で「国」「県」「市」の役割分担の中で所管する分野のルールを決めます。大きなイメージとして、「国」が法律を決め、「県」が計画を決め、「市」が執行するという感じです。具体的には「県」とつく施設や機関を管轄し、市町村単位ではなく広域管理した方が良い分野（県立高校・県警・県道等）も県の仕事です。国・県・市と並べると、「国が偉い」という様なイメージもあるかもしれませんが、近年は権限が委譲されており、「県」や「市」で独自性のある政策がたくさん出てきています。岐阜県“だったら”出来ること、岐阜県“でしか”やっていないことを増やして、「岐阜県って面白い事やってるな」と言われる様にしたいと思っています。

## Q 各務原市のこと 各務原市って岐阜県の中でどんな風に見られていますか?

「各務原市は活気がある」とよく言われます。製造品出荷額は岐阜県でぶっちぎり1位、人口もあまり減っていないし、市として財政も健全です。一方で、岐阜県は圏域で分かれています。例えば岐阜市（岐阜）・大垣市（西濃）・多治見市（東濃）・関市（中濃）・高山市（飛騨）の圏域の主要都市よりも知名度や政策の優先順位が低いように感じます。各務原市は人口では県内3番目ですが、同じ圏域内では岐阜市に次いで2番目、人口が近い大垣市と比較して、各務原市だけで生活や手続きが完結出来ないことが多いように思います。産業、公共交通機関の優位性、災害も少なく、雇用面で岐阜県の人口流出の「最後の砦」として、各務原市への期待は大きいです。岐阜県内での各務原市の存在感を上げることで、岐阜県を活性化させると共に、県政における各務原市の優先順位を上げて行くことが大事だと思っています。

## Q 県議会議員の人数について 県議会議員は岐阜県に何人いるんですか?

県議会議員は全員で46人います。今年8月時点の年齢で言うと、80代2人、70代9人、60代12人、50代12人、40代9人、30代2人です。僕は今年で38歳になりますが、県内で2番目に若い議員となります。



30代はわずか2人! 38歳でも若手です!

## Q 政治家を志したきっかけ どうして県議会議員になったんですか?

幼少期より「なぜ日本は経済大国なのに、こんなに将来を悲観しているのか」と疑問に思い、「経済が良いのに、未来が明るくないのは政治をよくしないとダメだ」と政治家を目指すことを決意しました。30歳でアメリカから日本に帰国し、子供も生まれ、「岐阜県から日本の未来を変えたい!」「岐阜県はすごい可能性があるのに知名度が低くてもったいない!」と考え、33歳で退職し、1年半の期間を経て34歳で岐阜県議会議員に初当選するに至りました。



3年前の出陣式に望む平野祐也

## Q 前職のこと 政治家になる前はどんな仕事をしていましたか?



三菱商事時代の平野祐也

三菱商事という総合社で11年勤務し、東京とアメリカのNYで働いていました。財務会計畑が長く、主に投資や経営の意思決定に携わる仕事をしていました。退職前は資金調達や運用、為替や金利のマーケットの世界で生きていました。政治や経済のニュースが世の中にどのような影響を与えるのかということを深く分析出来る良い機会でした。こう見えて?、意外と決算書や数字に強いと思います。総合社では世界経済の中の日本の立ち位置を実感する機会が多かったので、日本が世界で戦える産業を後押しし、未来の子供への教育や活力ある岐阜県を創りたいという思いで政治家に挑戦しました。

## Q 出身地のこと 各務原市のどこの出身なんですか?

市内で一番東にある鵜沼の緑苑小・緑陽中の出身です。幼少期は野球やサッカー、中学以降はバスケットボールをやっていました。僕の幼少期は緑苑も子供も多く、今は少し寂しい気持ちがあります。しかしやっぱり地元にいると同級生の親御さんとか、友達の友達等、すぐに繋がって「世間は狭いな」と実感する日々です。僕は人間が生きていく上で「仕事」と「教育」が一番大事だと思っています。政治家として産業や雇用を後押しし、岐阜県の子供には日本最高の教育機会を提供したいと考えています。僕は「岐阜県を外側から見る機会」が他の政治家や行政の方よりも多くあったと思います。一方で、議員になると「僕の知っていた岐阜県は狭かった」と思う機会がたくさんあります。「意外と岐阜県の人ほど岐阜県の魅力気付いていないな」ということも実感もします。こうした地域の魅力を皆さんに教えて貰いながら、岐阜県内だけでなく、日本中に知って欲しいと思って活動しています。



少年野球時代の平野祐也